

平成30年度 学校評価自己評価計画最終報告

海田町立海田東小学校

学校教育目標 「考え実践する 海田東っ子 『よく学び』『よく遊び』『やさしく強く』」 育成したい資質・能力 「主体性」「思考力」「自己理解」

中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価項目	指標	最終報告までの取組	評価基準				評価	結果の分析	来年度に向けての取組 (だれが いつ 何をやるのか)	学校評価委員会におけるご意見より
						A 目標達成	B ほぼ達成	C もう少し	D できていない				
知	主体的・協働的に学ぶ意欲をもつ児童の育成 自分の考えを深めることのできる児童の育成	・主体的な学びの場の工夫、改善(保護者・地域と共に創る授業の創造) ・思考力を深める授業づくり(思考の場の充実) ・読書活動の取組 ・文章を声に出して読む活動の取組	・保護者・地域参加型の授業の実施	・保護者・地域の方参加型の授業を各学年1回以上実施	○授業実践 1年むかし遊び(地域)リースづくり(保護者)2年おもちゃづくり(保護者)3年西園街道・海田市ガイドの会(地域)校区ガイドツアー(保護者・地域)4年じらく房との交流(地域)5年生トマトの栽培(地域)トマトの試食(保護者)6年海田町についての情報収集(保護者)東小サミットの実践(地域)	全学年1回以上	全学年1回	4学年	4学年未満	A	○授業実践 各学年の年間指導計画に位置付けられている内容を評価・改善を行い、来年度の学年に引き継いでいく。また、実践の具体的な内容を「先輩の学び」として残し、来年度につなげる。	【知】 授業改善のために、研究授業や授業交流(校内及び校区内)を充実させてもらいたいと思います。思考力、表現力を育成するためには、読書や音読は大切な取組だと考えます。	
			・学力調査の結果	「全国学力・学習状況調査」の結果(3教科平均)	○学力調査 児童の実態を把握し、授業改善や個別指導の充実を図った。また、学年の系統性を意識した授業改善を行った。 ＜国語科＞読む力の基礎となる音読指導、考えを表現する書く活動 ＜算数科・理科＞日常生活と学習内容を結び付けた学習活動	3ポイント以上	2ポイント以上	県平均以上	県平均未満	D	○学力調査 全国平均を+3Pt上回った学年…2/6学年 基礎的・基本的な内容は概ね定着している。 ＜国語科＞目的や意図に応じて書くことに課題。		
			前期 「全国学力・学習状況調査」の結果	「海田町標準学力調査(1学期版)」の結果	「海田町標準学力調査(1学期版)」全国平均正答率との比較(+3ポイントの学年数)	○学力調査 児童の実態を把握し、授業改善や個別指導の充実を図った。また、学年の系統性を意識した授業改善を行った。 ＜国語科＞読む力の基礎となる音読指導、考えを表現する書く活動 ＜算数科・理科＞日常生活と学習内容を結び付けた学習活動	4学年(2～5学年)	3学年	2学年	2学年未満	D		○学力調査 ・のびこタイムを充実させ、児童の実態を詳細に把握し、今年度の課題の内容を確実に定着させる。 ・結果の分析を行い、課題に応じた授業改善や個別指導の充実を図る。
			後期 「海田町標準学力調査」の結果	「海田町標準学力調査」全国平均正答率との比較(+3ポイントの学年数)	【児童】 友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている児童の割合。 【教師】 友だちと話し合うなど、考えを深めたり、広げたりする授業を行っている教師の割合。	○考えを深める ・思考を深めるための手立てや工夫を明確にした授業づくりを行った。また、研究協議会では、手立てが有効であったか、児童の発言などにより分析を行っている。	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満	B		○考えを深める 児童の意識調査結果:81%(中間より+4Pt) 教師の意識調査結果:100%(中間より+3.3Pt) 学び合いの場において、思考の視点を明確に示す。
			・学校アンケート(児童)	・教師アンケート	【保護者】「家庭読書」を月に1回以上実施した家庭の割合	○読書活動 家庭読書の実施を校内放送で呼びかけたり、活動状況を通信などで発信した。 ・本の廃棄や購入、図書委員会や子ども司書が読み聞かせや図書まつりなどを行い、読書環境づくりを進めた。	80%以上	75%以上	50%以上	50%未満	A		○読書活動 保護者による家庭読書の結果83%(中間より-1Pt)であるが、個人差が大きい。
			・学校アンケート(保護者)	【保護者】「家庭読書」を月に1回以上実施した家庭の割合	○音読指導 国語科だけでなく、様々な教科で音読指導を積極的に取り入れた。また、のびこタイム(昼学習)でも、国語科の教材の音読を定期的に取り	○考えを深める ・思考を深めるための手立てや工夫を明確にした授業づくりを行った。また、研究協議会では、手立てが有効であったか、児童の発言などにより分析を行っている。	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満	B		○音読指導 教師の意識調査結果:96%
徳	美しいあいさつや美しく整えることに取り組む児童の育成	・あいさつ運動 ・返事の指導 ・言葉遣いの指導 ・はきものそろえの指導	・学校アンケート(児童・保護者) ・教師アンケート	【児童】【教師】 相手に聞こえる声で、あいさつや返事をしている児童の割合。 【保護者】 わが子は相手に聞こえる声であいさつや返事をしていると考えている保護者の割合。	○あいさつ運動の実施 児童委員会による「あいさつカード」で、朝のあいさつ調べをした。 ・1月の生活目標「相手の目を見てあいさつしよう」で全校で取り組んだ。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	B	○あいさつ運動 意識調査の結果は、児童89%、保護者77%、教師81%。毎日の取組により、あいさつを意識付けることができた。	【徳】 先生方にも、よい手本となってもらえるように取組を進めてもらいたいと思います。学校と保護者の更なる連携に努めてください。	
			・学校アンケート(児童) ・教師アンケート	【児童】【教師】 相手に応じて、丁寧な言葉や敬語を使って話ができる児童の割合。	○言葉遣いの指導 ・毎日の学校生活の中で、言葉遣いの指導に継続して取り組んでいる。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	B	○言葉遣い 意識調査の結果、児童84%、教師74% 教師の声かけにより、改善が見られたが、声かけがないとできない児童もいる。		
			・学校アンケート(児童) ・教師アンケート	【児童】【教師】 靴箱のくつ(上ばき)やトイレのスリッパをそろえている児童の割合。	○はきものそろえの指導 各学級、美化委員会で靴箱の靴やトイレのスリッパをそろえるのチェックを行っている。 ・靴箱の写真を教室に掲示して、意識付けている学級もある。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	B	○はきものそろえ 意識調査の結果、児童90%、教師76% はきものをそろえようとする意識をもつ児童が増えたが、声かけがないとそろえられない児童もいる。		
	自他の良さを認め合うことのできる児童の育成	・よいとこ見つけ	・学校アンケート(児童) ・評価カード	【児童】 自分には良いところがあると考えている児童の割合。 ・行事ごとに友だちの良いところをカードに書くことのできる児童の割合	○よいとこみつけの実施 東小まつり、学習発表会での友達のよいところをキラキラカードに書いて、校内に掲示した。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	B	○よいとこみつけ 意識調査の結果、児童76%、教師87% 児童の自己肯定感はまだ低いが、キラキラカードのおかげでよさを伝えることはできた。		
			・無遅刻・無欠席児童の割合<学期ごと>	・無遅刻・無欠席児童の割合<学期ごと>	○皆勤賞 学期ごとに皆勤賞児童の名前を放送・掲示をし、意欲に繋げた。 ・学級で「皆勤賞」という言葉を出し、意識づけしていた。	50%以上	40%以上	35%以上	35%未満	A	○皆勤賞 2学期皆勤賞540人中301人で55.7%達成。数年間皆勤賞表彰を継続していることで、児童・保護者の中に皆勤賞が定着していると考えられる。		
			・学校アンケート(児童) ・教師アンケート	【児童】【教師】 休憩時間に外遊びをしている児童の割合。	○朝ごはん指導 朝ごはん指導を参観日や野外活動指導に取り入れた。 ○外遊びの推奨 水曜日全員遊び・クラス遊びを実施し、体育朝会で遊びの紹介をした。	90%以上	85%以上	80%以上	75%以上	B	○朝ごはん指導 朝食調査では、98%の児童が摂取しているが、中身に課題がある。今年度から朝ごはんの内容の調査をしたが、85.8%が主食・主菜・副菜がそろっていないかった。保護者との連携した取組が必要である。 ○外遊びの推奨 児童の意識調査結果:85% 教師の意識調査結果:98% 全員遊び(水曜日)・クラス遊びを取り入れることで、集団遊びが定着してきたと考えられる。教員も外で児童と一緒に遊		
自分から健康を考える子	進んで基本的な生活習慣の定着に取り組む児童の育成	・基本的な生活習慣の徹底 ・外遊びの充実	・無遅刻・無欠席児童の割合<学期ごと>	・無遅刻・無欠席児童の割合<学期ごと>	○皆勤賞 学期ごとに皆勤賞児童の名前を放送・掲示をし、意欲に繋げた。 ・学級で「皆勤賞」という言葉を出し、意識づけしていた。	50%以上	40%以上	35%以上	35%未満	A	○皆勤賞 担任・養護教諭が中心になって、学校や学級で基本的な生活習慣の大事さを学校だより・ほけんだよりなどで発信していく。	【体】 基本的な生活習慣、正しい食生活が身に付いてこそ教育活動が充実してきます。全ての子どもが健康で、楽しく学校生活が送れるよう引き続き取組を進めてもらいたいと思います。皆勤賞表彰等児童の意欲向上に生かされています。今後も取り組んでください。	
			・学校アンケート(児童) ・教師アンケート	【児童】【教師】 休憩時間に外遊びをしている児童の割合。	○朝ごはん指導 朝食調査では、98%の児童が摂取しているが、中身に課題がある。今年度から朝ごはんの内容の調査をしたが、85.8%が主食・主菜・副菜がそろっていないかった。保護者との連携した取組が必要である。 ○外遊びの推奨 児童の意識調査結果:85% 教師の意識調査結果:98% 全員遊び(水曜日)・クラス遊びを取り入れることで、集団遊びが定着してきたと考えられる。教員も外で児童と一緒に遊	90%以上	85%以上	80%以上	75%以上	B	○朝ごはん指導 朝食調査では、98%の児童が摂取しているが、中身に課題がある。今年度から朝ごはんの内容の調査をしたが、85.8%が主食・主菜・副菜がそろっていないかった。保護者との連携した取組が必要である。 ○外遊びの推奨 児童の意識調査結果:85% 教師の意識調査結果:98% 全員遊び(水曜日)・クラス遊びを取り入れることで、集団遊びが定着してきたと考えられる。教員も外で児童と一緒に遊		